



### 3. 研究の方法

岩手県においては、過去の災害での開発・実装支援経験から構築した「被災者台帳」の基本情報部分に加えて「被災者の生活再建支援システム」として、①被災者の支援状況を一覧で確認できる、②被災者／世帯の支援状況を確認できる、③地理的な支援状況を地図上で確認できる、機能を開発する。また、④各課で実施した支援業務CSV形式でシステムにいつでもアップロード／ダウンロードが可能な機能を開発する。加えて、必要に応じて⑤被災者台帳の必要情報を簡便に集計できる機能を設ける。これらの機能を通じて、被災者の支援状況の進捗を包括的に把握するシステムを開発する。

### 4. 研究の成果

広域に広がる被災地を効果的に支援するために、岩手県庁（盛岡市）のサーバーにシステムをおき、被災市町村は総合行政ネットワーク（LGWAN）を介してWebブラウザを用いた台帳サービスの活用が可能となるシステムの開発・実装を岩手県と共働で実施している。現在、この仕組みにおいて生活再建支援業務を実施している市町村は7市町村、その中で宮古市においては、重点プロジェクト地域として、ぬけもれおちのない生活再建支援の実現を目指し、庁内関係機関と台帳を活用した支援のための、被災者支援連絡調整会議を実施している。

### 参考文献

- 1) 井ノ口 宗成 他：被災者基本台帳に基づいた一元的な被災者生活再建支援の実現－2007年新潟県中越沖地震災害における“柏崎市被災者生活再建支援台帳システム”の実現－，地域安全学会論文集，No.10，pp.553-564，2008。

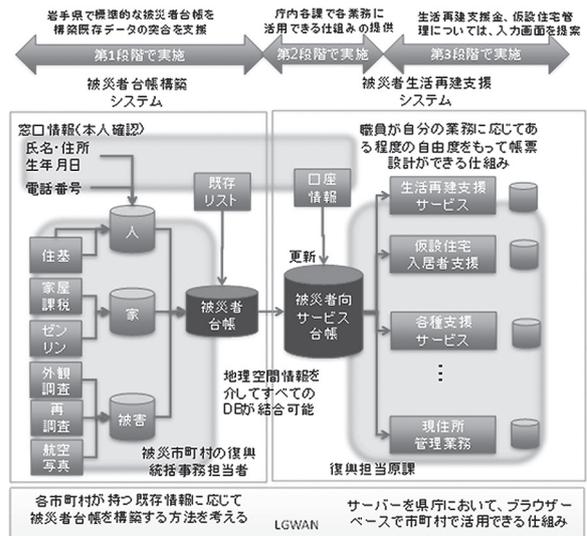


図2 岩手県被災者台帳コンセプト(上)と画面設計(下)